

公開講座「ものづくりにチャレンジ」開催報告

生産技術系
倉内 光弘

公開講座「ものづくりにチャレンジ」は、日本機械学会が8月10日を「機械の日」と制定しており、それにちなんで開催したものである。小・中学生を対象に、ものづくりを実施した。

テーマは「杉材を使った本棚づくり」と「模型飛行機づくり」の2テーマで、受講者は、小・中学生18名であった。当日は技術職員25名で対応した。最初に中央実験工場の技術職員による工作機械のデモンストレーションを見学し、その後、各テーマでものづくりにチャレンジし、子どもたちと保護者が協力してものづくりを体験した。



杉材を使った本棚づくり

模型飛行機づくり

杉板を使った本棚づくりでは、子どもたちのほとんどは今までに鋸や金槌を使用したことがなかったようなので、杉板の切断や釘を打つことに悪戦苦闘していたが、熱心にそして楽しそうに作業していた。出来上がった作品には、それぞれの個性が反映されていて、自分の用途に合った本棚を思い思いに製作していた姿が印象的だった。ガスバーナーを使用して焦げ目を付ける作業も行なったが、火を使うので心配も多少あったが、怪我もなく無事終了した。

こうした機会を通して、子どもたちがものづくりに興味を持ってくれたら嬉しく思う。今後もより充実したものづくりを開催し、多くの子どもたちのものづくりをサポートしていきたい。

最後に、公開講座「ものづくりにチャレンジ」を実施するにあたり、ご協力ご支援頂きました技術職員、事務部の皆様に心より感謝申し上げます。